

日本女子大学ソーシャルメディア利用についてのガイドライン

今や「ソーシャルメディア」はその利便性により、広く利用される有益なコミュニケーション手段となりました。しかし、これらは利用方法によっては予期せぬ問題を引き起こすリスクが存在しています。

本ガイドラインは、皆さんがそのリスクを理解し、ソーシャルメディアを正しく安全に利用してもらうことを目的としています。また、本ガイドラインでは皆さんが本学の学生であることの自覚を持ち、さらに社会的責任を持つことを求めています。

ソーシャルメディアの定義

ソーシャルメディアとは、インターネットを通して誰もが参加でき情報交換が可能なあらゆる情報手段のことを指しています。具体的には、SNS と呼ばれる Facebook、Twitter、google+、mixi 等とそれらと連携しているサイトや、ブログ、掲示板、プロフィールなどの Web ページや、動画・写真共有サイトである YouTube、ニコニコ動画、Flicker 等を総称しています。

本ガイドラインの対象

学部生、院生、科目等履修生、聴講生、留学生など、日本女子大学に在籍する全ての学生

ソーシャルメディア利用についてのガイドライン

■ 法令順守

ソーシャルメディアを利用する場合、日本国の法令を遵守することはもとより、諸外国法令や国際法規についても遵守を心掛けて利用してください。

特に著作権の侵害や商標の安易な使用、誹謗中傷や、名誉棄損、わいせつな表現にならないよう公序良俗に反しない利用を心掛けてください。

また、個人情報保護法に抵触するような他人の個人名や写真を許可なく投稿することや、日本女子大学の学生、卒業生、その他日本女子大学の関係者の守秘義務のある情報について投稿をすることは行わないよう注意してください。

■ 責任を持って利用する（自分の将来・周囲の人たちにまで影響する可能性がある）

ソーシャルメディアの特性をよく理解して利用してください。ソーシャルメディアに投稿した情報は全世界に発信されます。また、検索サイトでは投稿した発言や写真を検索することができ、投稿内容を転送・コピーされる可能性もあります。さらに、投稿を削除した後でも、拡散した情報は削除されることはありません。例え匿名の投稿であったとしても、個人を特定することが可能です。

最近では、就職活動において、企業がエントリーしてきた学生を Web で検索する例が増えてきています。ソーシャルメディアでの投稿が将来に不都合をもたらさないよう十分注意してください。

また、投稿から個人情報（住所、電話番号、学校名など）が特定されてしまうと、あなただけでなく家族や友人にまで被害が及ぶ可能性があります。

投稿によりどのような影響があるかよく考えた上で利用するようにしてください。

■ 正しい情報ばかりではない

ソーシャルメディア上には多くの情報が溢れていますが、全ての情報が正しいとは限りません。情報に確証がない場合は、その情報に関する組織・機関や個人に確認を取るようしてください。自分自身が誤った情報を投稿しないよう注意すると共に、誰かが投稿した誤った情報を拡げてしまわないよう注意することも必要です。

■ 自分自身を守る

個人情報の公開範囲については十分な注意が必要です。住所や電話番号等を掲載しないことはもとより、投稿内容から推測され個人情報が特定されないよう発信内容に注意してください。また、他人のアカウントを奪い「なりすまし」を行う者に悪用されないよう、パスワードの更新なども定期的に行ってください。

ソーシャルメディアでは「フォロー」や「友達申請」など、他者からの招待からコミュニケーションが始まる場合があります。それらの招待を承諾した場合に、どのような影響があるのか慎重に検討した上で承諾をしてください。

■ 社会に貢献する

ソーシャルメディアは良識を持って利用すれば自身のコミュニティを育て、新たな情報を得ることができる有益なサービスです。今後、ソーシャルメディアを活用するのであれば社会的ルールを守り良識ある態度で参加するとともに、そのメディアや他者に対して貢献できるよう心がけてください。

また、ソーシャルメディアで得た知識・経験を社会で活用できるように自身の成長に役立ててください。

問題が発生した場合は

もしも間違った内容や不適切な投稿をしてしまった場合は、それを認め、迅速に訂正や謝罪を行ってください。また、訂正したことを明記してください。

ソーシャルメディア上では、情報は想像する以上に早く拡散します。問題が発生したらできるだけ速やかに対応することが大切です。